

2022年度 関東学生水球リーグ戦水球 【戦評】

会場：成蹊大学

【2022/6/12】

この試合のプレー集計

2部5-6

学習院大学

11

3	—	3
1	—	1
5	—	0
2	—	2
PSO		

6

上智大学

審判:

森下 正樹

中 哲朗

学習院大学	38	SH数	34	上智大学
	3	速攻数	4	
	10	ST・SB	14	
	7	SH・P誘発アシスト	4	
	57%	GK阻止率	56%	
	7	EX反則数	10	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

2022年度関東学生水球リーグ戦最終試合となった2部リーグ5位決定戦。上智大の1年生エース**⑤**園田が2部リーグ得点王になるかどうかとも期待される一戦。学習院はこの**⑤**園田をどれだけ抑えられるかが試合のポイントになる。

1P

早速、上智大**⑤**園田がセンター位置で決めて上智が先制すると、その後は学習院はダブル・トリプルでゴール前を固めるDF。その分、左45°位置がやや空く形となり、そこを上智大**②**森下に攻められて連続失点するが、ピリオド終盤には学習院のホットラインとなる**②**立花→**⑥**星を決めて、学習院3-3上智大でピリオド終了。ピリオド中盤からは上智大**⑤**園田にはまったくボールが入らない展開となった。

2P

学習院のペナルティシュートミスについて上智大**②**森下が決めた後、長いラリーの応酬となった。お互いにシュートは放つがGK好セーブなどが続いたが、攻め手を失った上智大のオーバータイムを突いて学習院**②**立花がトップ位置から決めて、学習院4-4上智大で前半を折り返した。このピリオド中盤から上智大は学習院DFに負け、攻め手を失いつつあった。

3P

ピリオド最初の学習院側の攻撃で、センターのいい位置を取った**⑥**星に**②**立花がアシストパス。そのシュートで決めると学習院ベンチを含めて一気にヒートアップ。そうした熱気に上智大は完全に飲まれてしまい、攻撃リズムが取れずにオーバータイムの連続。3本続けてオーバータイムからの学習院の攻撃に屈してしまっ、一気に5点差をつけられてしまった。学習院のホットライン**②**立花→**⑥**星への対応が中途半端な上智大DF。それらも上智大**⑤**園田への学習院DFが完全に上回ったことが大きなアドバンテージとなった。

4P

上智大**⑤**園田へのマークを引き離すような攻撃は諦め、他のメンバーで粘るしかなくなった上智大は**⑧**高原が相手シュートミスを突いて懸命に前に出て得点し、その後も退水攻撃でタイムアウトを取って**⑦**李が決めて3点差に。しかし、焦る上智大のシュートミスについて学習院が2点を追加し、最終的には学習院11-6上智大で学習院の5位、上智大の6位が決まった。

このゲームでは、退水時の不正入水が相次いでしまった。もう少し冷静になって、ルールを遵守する試合運びに努められるよう取り組んでほしいもの。徹底的にマークされた上智大**⑤**園田は1得点に留まり、2部リーグ得点王にはあと一歩届かなかった。